



“地域のことは地域で考えよう”

〒900-0013 那覇市牧志1丁目3番45号、3階 電話 (098) 869-8711

各位

2022年12月28日

株式会社 おきぎん 経済研究所

## おきぎん県内景況・速報（2022年11月分）

◎ 県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとで回復しつつある。

☆ 個人消費：スーパー売上高は全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。

百貨店売上高は前年同月を上回る。

新車販売台数は前年同月を上回る。

中古車販売台数は前年同月を下回る。

☆ 建設関連：公共工事請負金額は前年同月を下回る。

生コンは前年同月を上回り、セメントは下回る。

☆ 観光関連：入域観光客数は前年同月を上回り、観光施設入場者数も上回る。

ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。ホテル客室単価、宿泊収入(推計値)においても前年同月を上回る。

☆ 企業倒産：件数は前年同月を上回り、負債総額は下回る。

※ お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

[担当]：新垣、中江、小嶺 [連絡先] 電話：098-869-8711 ファクシミリ：098-869-2200

現場主義とお客さまからの信頼

おきぎん県内景況・速報(2022年11月分)

◎2022年11月 おきぎん「カトリア」景況図



◎ 概況：県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとで回復しつつある。

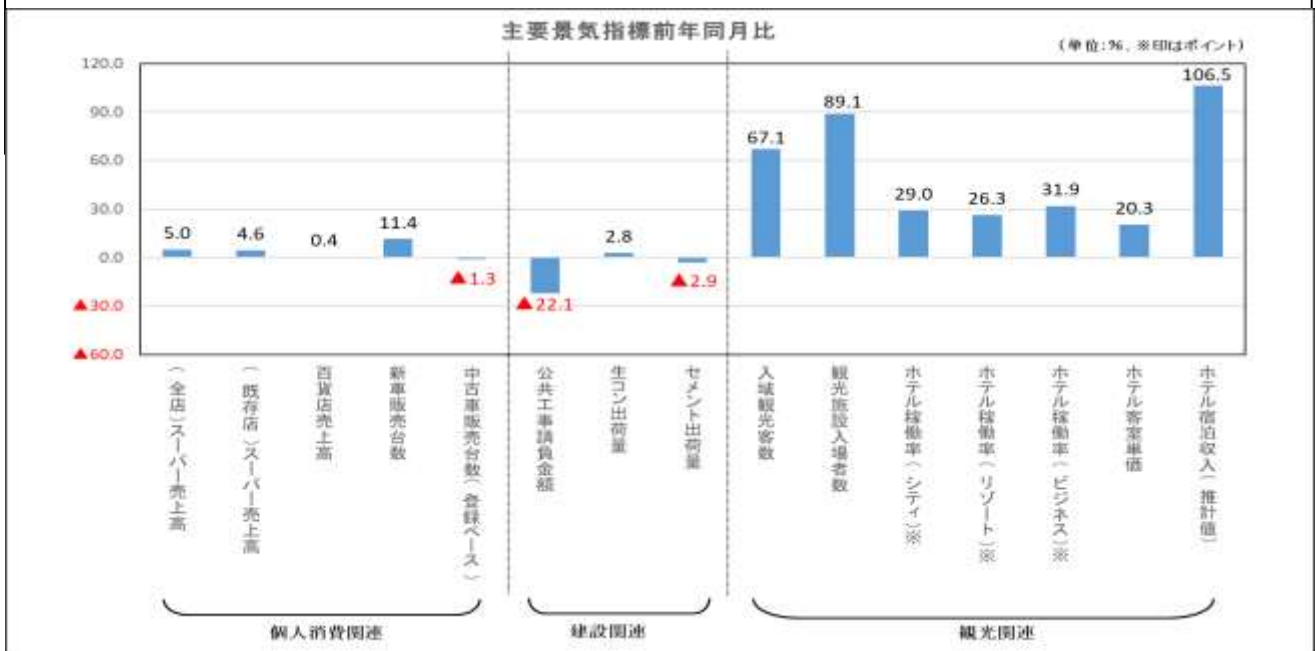
11月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月上回りました。百貨店売上高は、前年同月上回りました。耐久消費財である新車販売台数は前年同月上回り、中古車販売台数は前年同月を下回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は前年同月を下回りました。建設資材である生コンは前年同月上回り、セメントは下回りました。

観光関連では、入域観光客数は前年同月上回り、観光施設入場者数も前年同月上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてにおいて、前年同月上回りました。ホテル客室単価、宿泊収入(推計値)においても前年同月上回りました。

このような状況に鑑みて、個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響や供給制限が緩和傾向にあることなどにより回復しつつあります。観光関連は、全国旅行支援の実施などで回復しつつあり、建設関連は、民間工事に持ち直しがみられるものの、弱い動きが続いています。よって、「県内景況は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐもとで回復しつつある」と上方修正しました。

(上方修正)



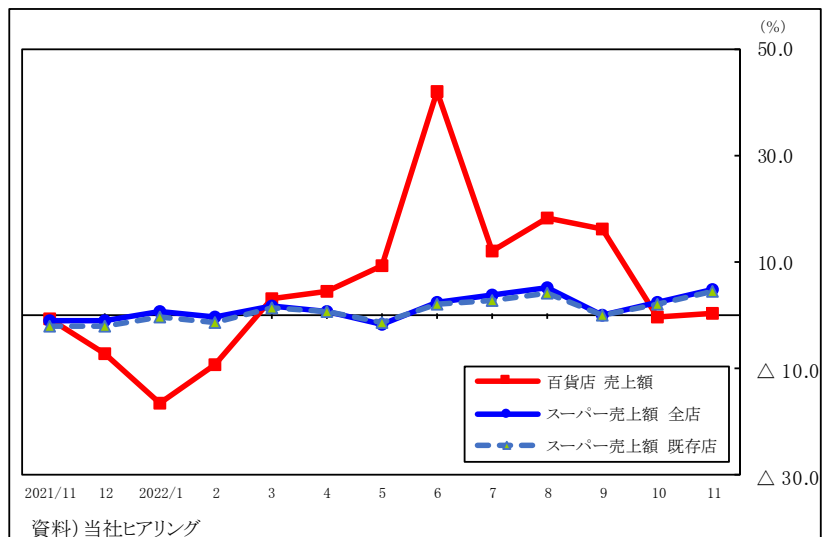


■個人消費：(ふつう)

① スーパー売上高は、全店ベース、既存店ベース共に前年同月を上回る。百貨店売上高は、前年同月を上回る。

単位：%

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2021/11	△ 1.0	△ 2.0	△ 0.5
12	△ 0.9	△ 1.9	△ 7.2
2022/1	0.7	△ 0.2	△ 16.3
2	△ 0.3	△ 1.2	△ 9.3
3	1.9	1.5	3.3
4	0.6	0.6	4.6
5	△ 1.5	△ 1.3	9.2
6	2.6	2.1	42.1
7	3.9	2.9	12.0
8	5.3	4.2	18.4
9	0.2	0.1	16.3
10	2.6	2.2	△ 0.3
11	5.0	4.6	0.4



注) 前年同月比

11月の個人消費関連では、スーパー売上高「全店ベース(前年同月比 5.0%増)」は、6ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 7.0%増)」、「家庭用品(同 4.4%増)」は新型コロナウイルス感染症の影響緩和による消費マインドの回復や来店客数の増加、一部物価高の影響などにより、前年同月を上回りました。「衣料品(同 11.0%減)」は平年と比べ気温が高く推移したことによる冬物商材の売れ行き鈍化などにより前年同月を下回りました。

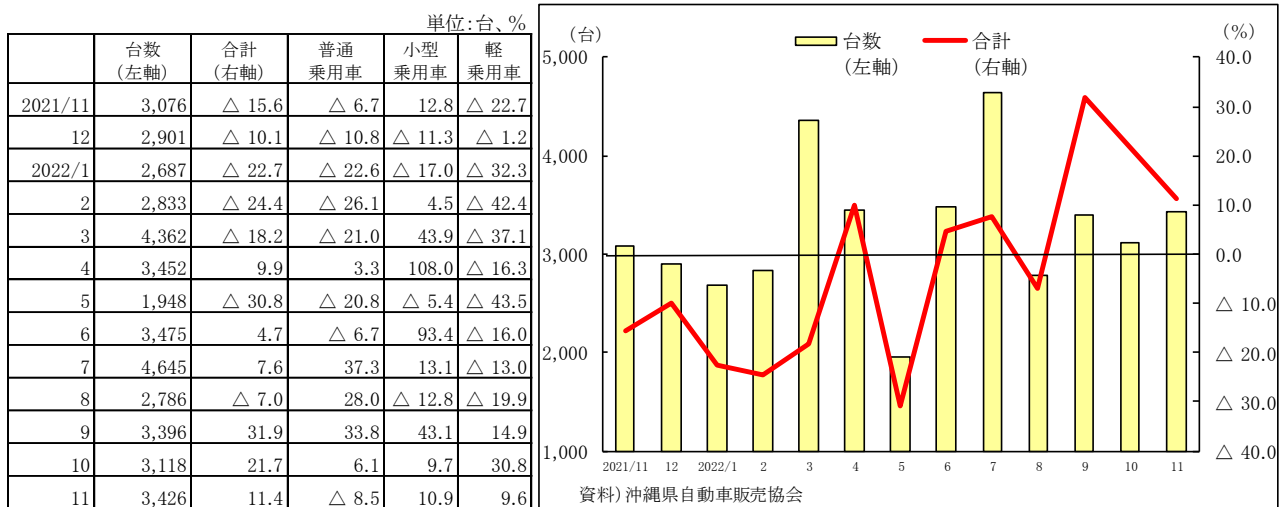
「既存店ベース(同 4.6%増)」は、6ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別では、「食料品(同 6.2%増)」、「家庭用品(同 2.7%増)」は新型コロナウイルス感染症の影響緩和による消費マインドの回復や来客数の増加、物価高騰の影響などにより前年同月を上回りました。「衣料品(同 10.8%減)」は天候要因などにより、前年同月を下回りました。

(参考値)コロナ禍以前の2019年同月比では、7.2%増となりました。

百貨店売上高は、前年同月を上回りました(同 0.4%増)。内訳をみると「衣料品(同 4.6%減)」、「身廻品(同 3.3%減)」、「家庭用品(同 4.2%減)」は大規模なポイント還元企画を行うも、天候要因による冬物衣料の売れ行き鈍化などにより前年同月を下回りました。「食料品(同 3.6%増)」は、お歳暮ギフト商品の好調などにより前年同月を上回りました。全体としては2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。

(参考値)コロナ禍以前の2019年同月比では、全体で27.2%減となりました。

## ② 新車販売台数…新車販売台数は、前年同月を上回る。



注) 前年同月比

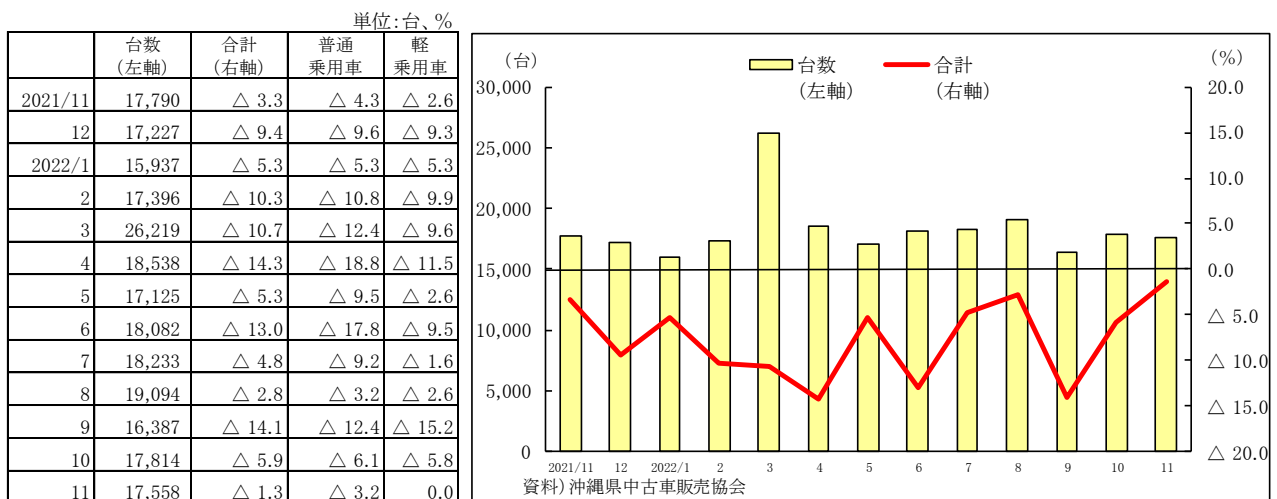
注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

**新車販売台数**は、全体で3,426台(同11.4%増)となり、3ヵ月連続で前年同月を上回りました。車種別では、「普通乗用車(同8.5%減)」は前年同月を下回りました。「小型乗用車(同10.9%増)」、「軽乗用車(同9.6%増)」は供給制限の影響が改善しつつあることやレンタカーの増加などにより前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。

(参考値)コロナ禍以前の2019年同月比では、全体で2.8%減となりました。車種別では、普通乗用車8.0%減、小型乗用車10.1%減、軽乗用車5.3%減となっています。

## ③ 中古車販売台数…中古車販売台数は前年同月を下回る。



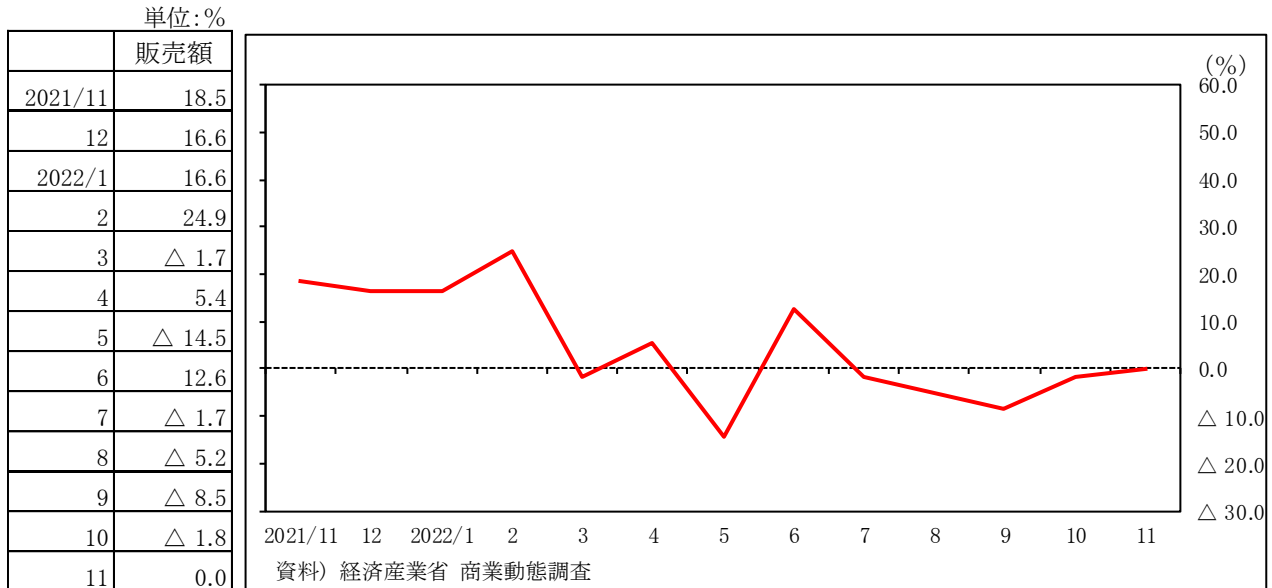
注) 前年同月比

注) 登録ベース

**中古車販売台数(登録ベース)**は、全体で17,558台(同1.3%減)となり、14ヵ月連続で前年同月を下回りました。車種別では、「乗用車(同3.2%減)」は市場の供給減少に伴う価格高騰などにより、前年同月を下回りました。「軽自動車(同0.0%)」は前年同月並みとなりました。

(参考値)コロナ禍以前の2019年同月比は全体で0.1%増となり、車種別では乗用車3.8%減、軽自動車2.7%増となりました。

④ 大型家電専門店販売額…販売額は前年同月並みとなる。



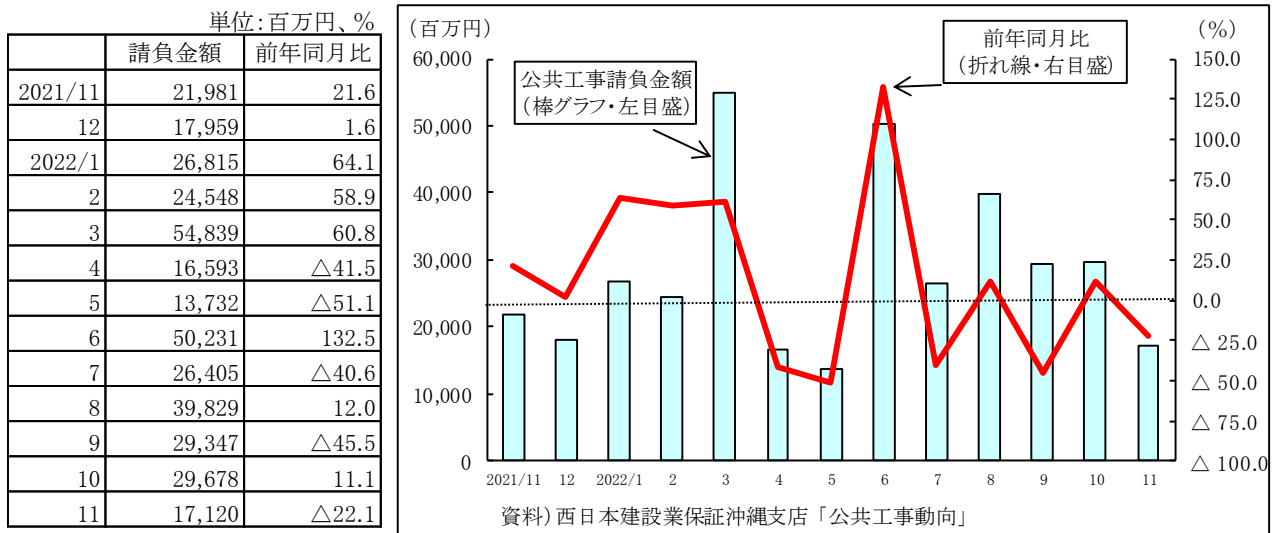
注) 前年同月比

11月の大型家電専門店販売額は前年同月並みとなりました。

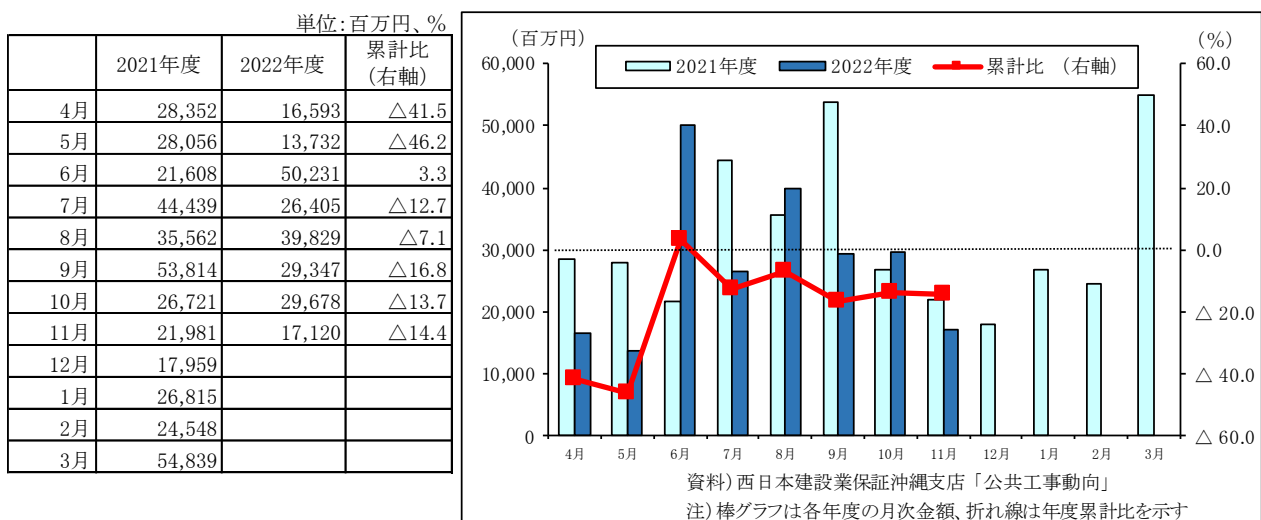


■建設関連： (ふつう)

①公共工事・・・公共工事請負金額は前年同月を下回る。



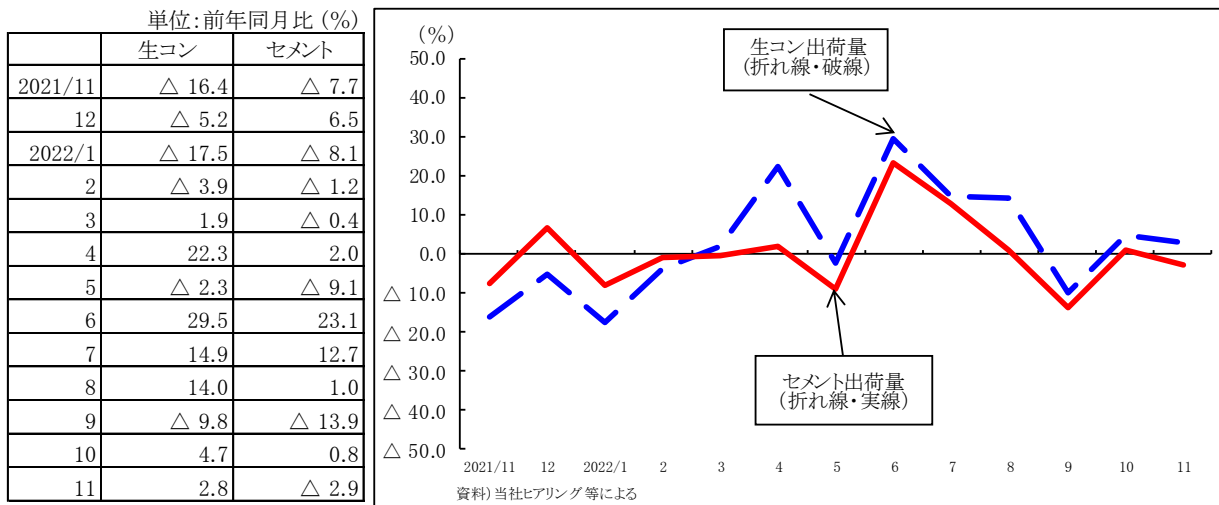
【参考】公共工事（年度累計）・・・公共工事請負金額は前年同期を下回る。



11月の公共工事請負金額は、前年同月比22.1%減の171億2,000万円となりました(2ヵ月ぶり減)。

発注者別でみると、「国(33.8%減)」、「市町村(同23.7%減)」は前年同月を下回りました。一方、「独立行政法人等(同328.7%増)」、「その他(同4.3%増)」、「沖縄県(同1.1%増)」は前年同月を上回りました。

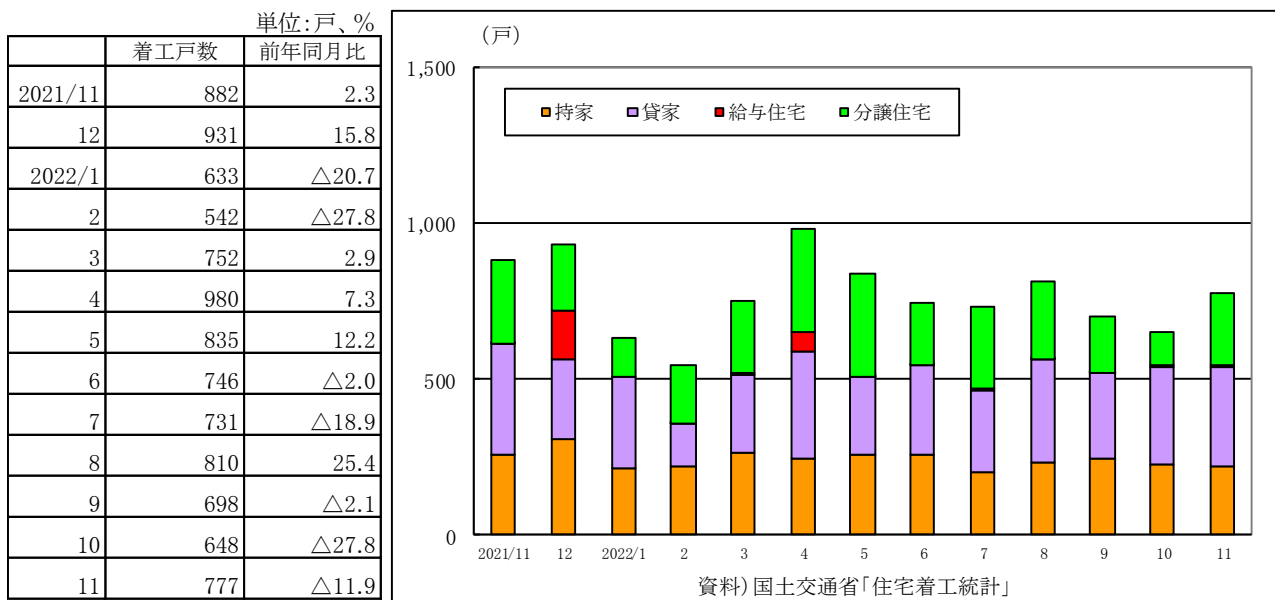
②建設資材・・・生コンは前年同月を上回り、セメントは下回る。



(注) セメント出荷量は、速報値につき、確報にて修正される場合がある

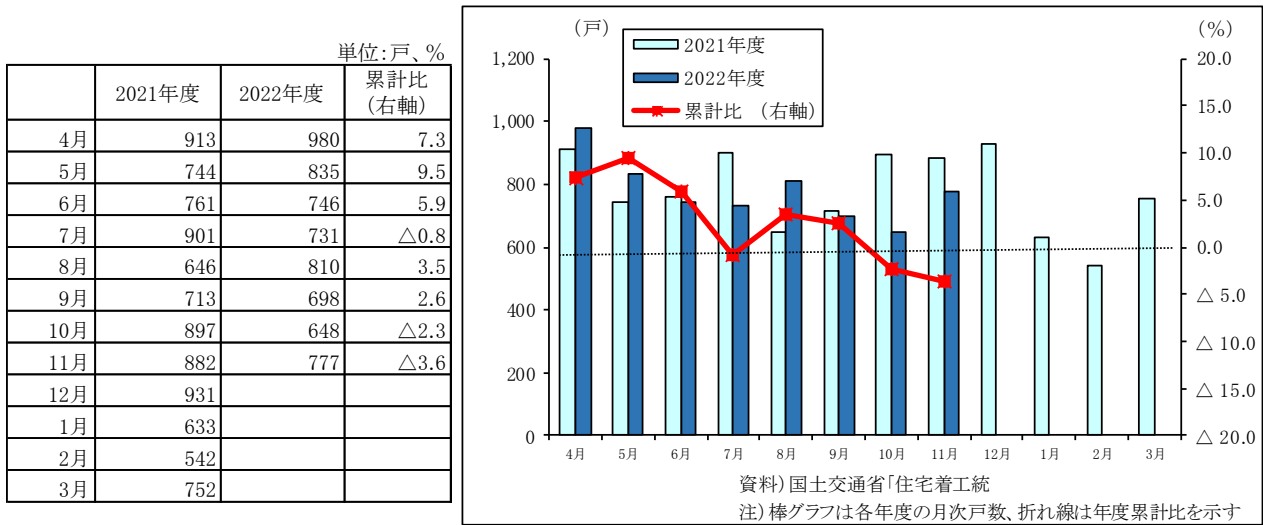
建設資材関連では、生コンの出荷量は 2.8%増と2ヵ月連続で前年同月を上回りました。内訳をみると、公共工事向けは中南部での出荷が増加したことなどから前年同月より 20.1%上回り、民間工事向けは中南部での出荷が減少したことなどから前年同月より 5.3%下回りました。セメント出荷量は 2.9%減と2ヵ月ぶりに前年同月を下回りました。

③住宅投資 (11月)・・・着工戸数は前年同月を下回る。



11月の新設住宅着工戸数は、全体で前年同月比11.9%減の777戸となり、3ヵ月連続で前年同月を下回りました。利用別戸数をみると、「持家(同14.6%減)」、「分譲住宅(同13.4%減)」、「貸家(同9.8%減)」は前年同月を下回りました。一方、「給与住宅(300.0%増)」は前年同月を上回りました。

【参考】住宅投資（年度累計）・・・着工戸数は前年同期を下回る。



今年度累計値では、3.6%減となっています。



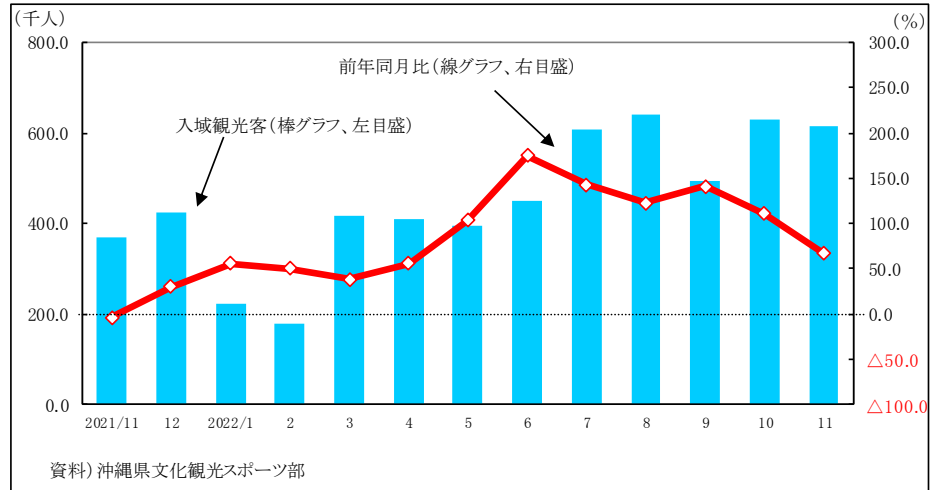


■観光関連： (ふつう)

①入域観光客数（国内客・外国客の合計）・・・前年同月を上回る。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2021/11	368.0	△ 3.4
12	423.5	29.8
2022/1	224.6	56.0
2	179.1	50.8
3	415.7	38.9
4	409.0	55.8
5	396.8	103.3
6	448.5	175.3
7	607.8	142.7
8	640.8	122.3
9	494.7	141.4
10	630.7	110.9
11	615.0	67.1

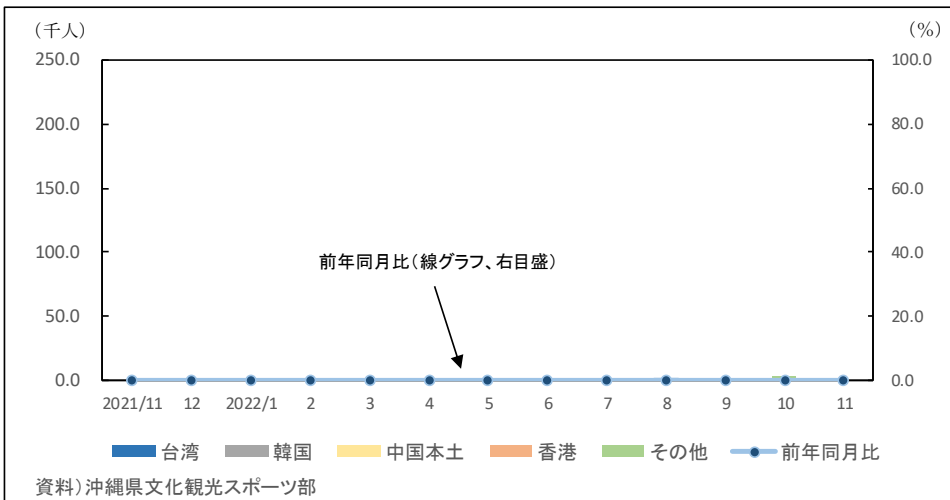
※外国客は乗務員等を含む



外国客入域観光客数・・・12,100人の入域となる。

単位:千人、%		
	入域観光客	前年同月比
2021/11	0.0	N/A
12	0.0	N/A
2022/1	0.0	N/A
2	0.0	N/A
3	0.0	N/A
4	0.0	N/A
5	0.0	N/A
6	0.0	N/A
7	0.0	N/A
8	0.1	N/A
9	0.0	N/A
10	2.7	N/A
11	12.1	N/A

※外国客は乗務員等を含む



11月の入域観光客数は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぐなか、全国旅行支援が実施されたことなどから、247,000人多い615,000人(前年同月比67.1%増)となり、12ヵ月連続で前年同月を上回りました。

2019年同月比(国内客・外国客の合計)では、184,200人減少(23.0%減)と下回っています。

2019年同月比(国内客)では、14,900人増加(2.5%増)となっています。

外国客入域観光客数は、台湾や香港の一部路線による追加の運行再開などにより、12,100人の入域がありました。今後、入国制限措置の緩和による運航再開が予定されていることから、外国客数の緩やかな回復が見込まれています。

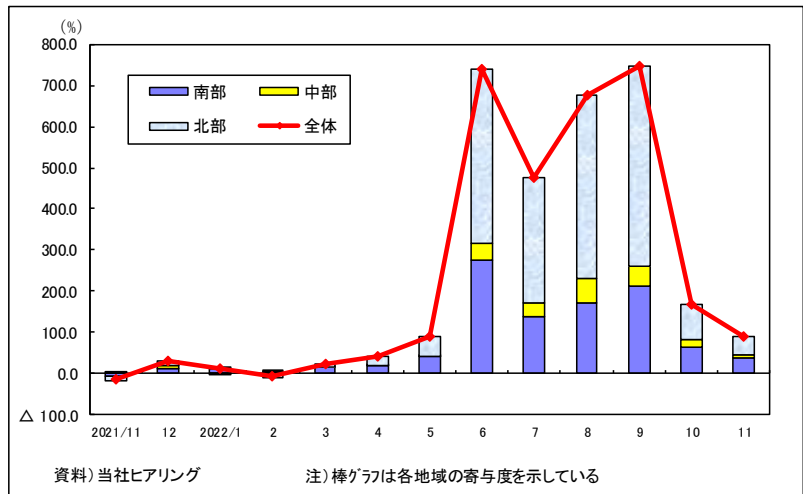
## ②観光施設入場者数・・・前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2021/11	△ 14.3	△ 16.0	40.0	△19.9
12	30.0	37.9	46.7	20.9
2022/1	11.6	42.8	△ 15.5	6.7
2	△ 6.6	23.7	10.0	△15.7
3	24.9	60.7	11.3	13.1
4	43.0	61.6	12.2	38.9
5	90.1	153.6	16.8	77.5
6	738.2	1,132.3	472.1	629.3
7	475.9	460.8	479.3	482.7
8	675.0	373.7	519.5	1,039.8
9	747.4	510.6	559.3	978.8
10	168.8	237.0	179.0	137.6
11	89.1	108.9	43.4	85.1

※調査対象施設数＝南部6、中部5、北部4施設

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



11月の**観光施設入場者数**は、修学旅行など団体客の増加などから、全体では89.1%増となり9ヵ月連続で前年同月を上回りました。地域別では、北部の観光施設は85.1%増、南部は108.9%増、中部は43.4%増となりました。

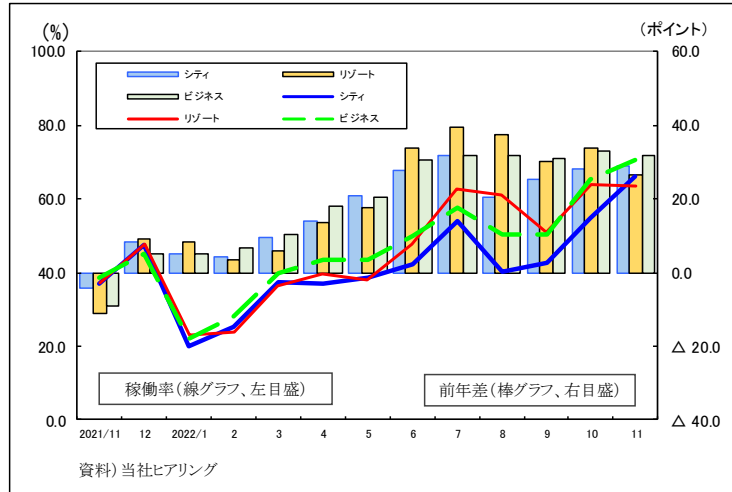
(参考)2019年同月比では、全体で22.1%の減少となりました。内訳では北部の観光施設は28.4%減少、南部は9.7%の上昇、中部は57.7%の減少となっています。南部について、2019年同月に一部の観光施設において休業していたことなどから、ポイントが高くなっています。

### ③ ホテル稼働率・・・シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてにおいて前年同月を上回る。

単位: %、ポイント

	稼働率			前年同月差		
	シティ	リゾート	ビジネス	シティ	リゾート	ビジネス
2021/11	37.1	37.3	38.7	△ 4.1	△ 11.0	△ 9.1
12	47.3	47.5	45.1	8.4	9.0	5.2
2022/1	20.1	23.2	22.0	4.9	8.3	5.1
2	25.1	24.0	27.9	4.1	3.4	6.7
3	37.3	36.2	40.0	9.5	6.0	10.2
4	36.8	39.8	43.5	13.8	13.4	18.0
5	38.6	37.9	43.3	20.7	17.6	20.6
6	42.1	47.5	49.9	27.6	33.9	30.6
7	53.9	62.5	57.5	31.8	39.5	31.6
8	40.2	61.1	50.3	20.4	37.6	31.6
9	42.7	51.1	50.2	25.1	30.3	31.0
10	54.9	63.9	65.3	28.1	33.7	33.1
11	66.1	63.6	70.6	29.0	26.3	31.9

注)シティ8ホテル、リゾート18ホテル、ビジネス4ホテル  
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。



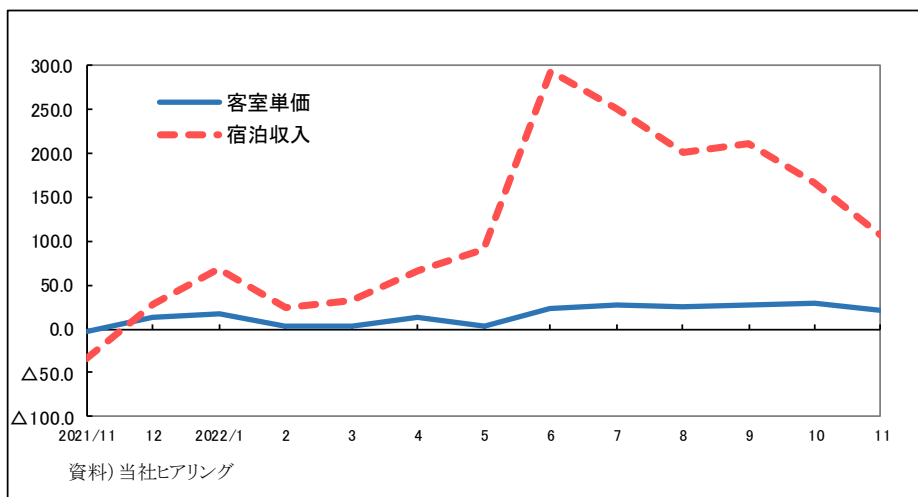
**県内ホテル稼働率**は、シティホテルは前年同月比29.0ポイント増加、リゾートホテルは26.3ポイント増加、ビジネスホテルは31.9ポイント増加しました。全国旅行支援の実施や修学旅行・団体客の増加などから、前年同月を上回りました。

(参考)2019年同月比では、シティホテルは10.2ポイントの減少、リゾートホテルは7.8ポイントの減少、ビジネスホテルは5.0ポイントの減少となっています。

### ④ ホテル客室単価・宿泊収入…ホテル客室単価は前年同月を上回り、宿泊収入も上回る。

単位: %

	客室単価	宿泊収入
2021/11	△3.8	△33.4
12	12.5	29.1
2022/1	16.9	69.4
2	2.9	24.1
3	2.3	31.6
4	14.1	66.2
5	3.4	91.2
6	24.1	293.8
7	27.7	251.1
8	24.7	201.3
9	26.5	211.9
10	29.5	166.8
11	20.3	106.5



※対象施設数:26施設(シティ8、リゾート18)、ビジネスは除く

※客室単価は26施設の平均値、宿泊収入は各施設の推計値の総額(稼働率及び客室単価より当社推計)

※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

**ホテル客室単価**(シティ&リゾート)は20.3%増と12ヵ月連続で前年同月を上回り、**宿泊収入**においても106.5%増と12ヵ月連続で前年同月を上回りました。

(参考)2019年同月比では、客室単価は13.5%の上昇、客室収入は5.1%の上昇となっています。

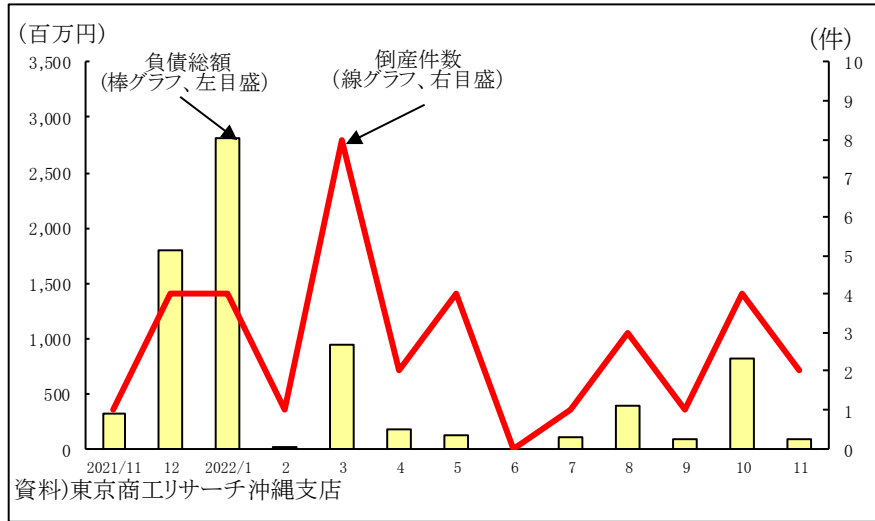


■企業倒産： (やや良い)

企業倒産・・・件数は前年同月を上回り、負債総額は下回る。

単位:百万円、件

	負債総額	倒産件数
2021/11	320	1
12	1,803	4
2022/1	2,819	4
2	10	1
3	935	8
4	170	2
5	120	4
6	0	0
7	94	1
8	381	3
9	83	1
10	816	4
11	75	2



注) 負債総額1,000万円以上を集計対象

11月の企業倒産件数は2件となり、前年同月より100.0%上回りました。

負債総額は7,500万円となり、前年同月より76.6%下回りました。

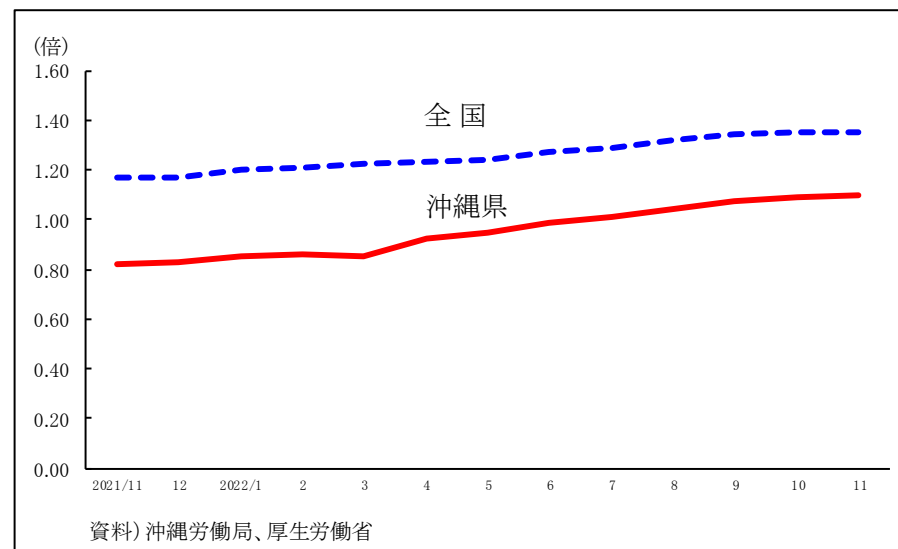


■雇用関連： (ふつう)

①有効求人倍率(11月)・・・沖縄は前月より上昇、全国は同水準。

単位:倍

	沖縄県	全国
2021/11	0.82	1.17
12	0.83	1.17
2022/1	0.85	1.20
2	0.86	1.21
3	0.85	1.22
4	0.92	1.23
5	0.95	1.24
6	0.99	1.27
7	1.01	1.29
8	1.04	1.32
9	1.07	1.34
10	1.09	1.35
11	1.10	1.35



注) 季節調整済

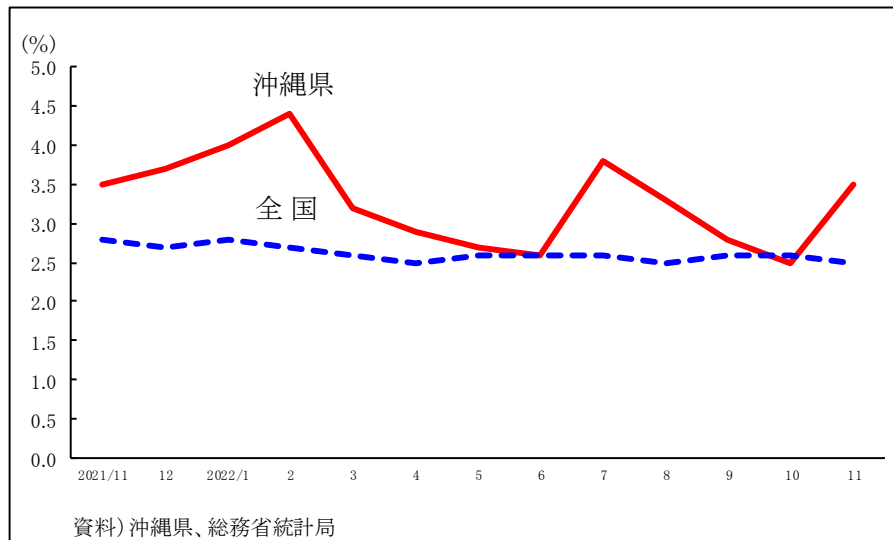
注) 沖縄県の数値は県内を就業地とする「就業地別」求人数を用いて算出

11月の雇用状況は、月間有効求人数(季節調整値)が前月比1.5%減の32,532人に対して、月間有効求職者数(同上)は前月比2.5%減の29,497人となり、有効求人倍率(季節調整値)は1.10倍と、前月より0.01ポイント上昇となりました。

②完全失業率(11月)・・・沖縄は前月より上昇、全国は低下。

単位:%

	沖縄県	全国
2021/11	3.5	2.8
12	3.7	2.7
2022/1	4.0	2.8
2	4.4	2.7
3	3.2	2.6
4	2.9	2.5
5	2.7	2.6
6	2.6	2.6
7	3.8	2.6
8	3.3	2.5
9	2.8	2.6
10	2.5	2.6
11	3.5	2.5



注) 季節調整済

11月の完全失業率(季節調整値)は、3.5%となり前月より1.0ポイント上昇しました。